忘れず確認！すぐ実行！

営農プラスメモ

トラクターの点検

1年間営農作業に活躍したトラクター。汚れを落としてきれいに収納することはもちろん、来年以降の作業に備えて、機械全体の点検を実施し、必要があれば整備をしておきましょう。来春の作業前にも、同様の点検をお忘れなく。

	チェックポイント		発生しうる問題や対応策など
エンジン・本体	燃料の漏れはありませんか?	□	故障や事故につながる恐れがあります。
	オイルの油量は適正ですか? 漏れなどは発生していませんか?	□	燃費悪化や故障の原因となります。問題がなくても、オイル・フィルターは定期的に交換しましょう。
	エアクリーナーはきれいですか?	□	吸気量が減少し、燃費悪化や故障の原因となります。目詰まりがないか確認し、定期的な清掃・交換をしましょう。
	冷却水量は適正ですか? 漏れなどは発生していませんか?	□	エンジン故障の原因となります。適正な水量や、ラジエーターの詰まりも確認しましょう。
	ファンベルトの張りは適正ですか? 亀裂などは入っていませんか?	□	オーバーヒートの原因となります。ベルトの張りが十分か確認し、亀裂がある場合は交換しましょう。
	計器類・灯火・クラクション・ウィンカー等は正常に作動していますか?	□	故障や思わぬ事故の原因となることがあります。早目に整備工場等で点検を受けましょう。
	エンジンのかかり具合・排気色・動作音等に異常はありませんか?	□	
動力伝達部	ハンドル・ブレーキの操作に異常はありませんか?	□	走行中の事故につながる恐れがあります。異常がある場合は、早めに整備工場等で点検を受けましょう。
	ミッション・チェーンケース内のオイル量は適正ですか?	□	ミッションの焼付や、摩擦の増大につながります。適正なオイル量を確保し、フィルタも定期的に交換しましょう。
	クラッチなどの動作状態に異常はありませんか?	□	クラッチディスクの破損、ブレーキが効かなくなるなど、事故の原因となることがあります。異常を感じた場合は、整備工場等で点検を受けましょう。
走行系統	タイヤの空気圧は適正ですか? 損傷はありませんか?	□	空気圧が適正でないと、走行抵抗の増加や燃費の悪化、パンクの原因となります。日常点検で適正な空気圧を確認し、ナット類に緩みがないか確認しましょう。
	リム・ハブナットの緩みはありませんか?	□	
	グリースニップルの給油状態は適切ですか? 損傷はありませんか?	□	
作業機械装着系統	油圧3点装置に異常はありませんか?	□	トラクターや作業機の故障及び事故の原因となります。破損がある場合は、修理・交換のうえ使用してください。
	けん引装置のピンはありますか?	□	
	PTO軸に損傷はありませんか?保護キャップはありますか?	□	
作業部・部品類	作業機の作用部に損傷や摩耗はありませんか? ●ロータリー爪 ●プラウの刃板・地側板・コールター ●ハローのディスク ●コンバインの刈刃　など	□	摩耗すると、作業精度が低下します。また、抵抗の増大により燃費悪化の原因となることがあります。研磨対応の場合は研磨を依頼しましょう。

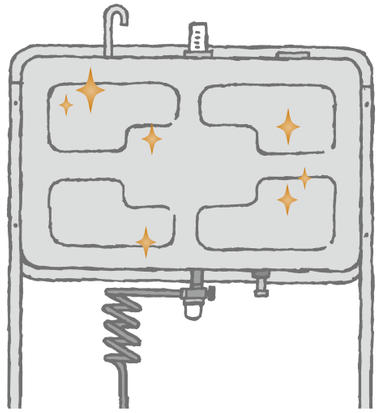
※保守点検の内容は、機種によって相違があるため、各機種の取扱説明書を必ず参照の上、作業を行ってください。
※不良の原因や処置方法が分からない場合は、認定整備工場で点検・処置を受けてください。

営農プラスメモ

あなたのホームタンクは大丈夫ですか?

～規格外･老朽化ホームタンクはすぐに取り替えましょう～

皆さまの営農や日々の生活に必要な燃料。灯油･軽油･ガソリン･重油などの燃料は、消防法上の「危険物」に該当し、その貯蔵や取り扱いの方法について細かく規制されています。あらためて「消防法」への理解を深め、燃料の正しい取り扱いをお願いします。



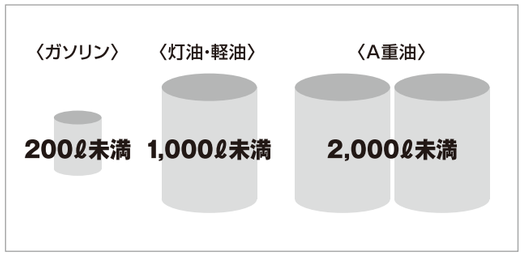
消防法による貯蔵量の規制

燃料の貯蔵（保管）については、油種の危険度に応じて「指定数量」が決められています。

指定数量とは?

その危険物の危険性を判断するための基準量です。どのくらいの量を貯蔵したら消防法の規制の対象になるかは、危険物によってそれぞれ異なり、その数量が「指定数量」となります。

※指定数量は危険性が高いほど小さく、危険性が低いものほど大きくなります。



1.指定数量以上の燃料油を消防法で許可された施設以外で貯蔵してはいけません（消防法第10条）

これに違反すると……

最高で**1年以下の懲役**または**100万円以下の罰金**（消防法第41条）が科せられます。

※指定数量以上の燃料を貯蔵したい場合は、お近くの消防局または消防本部にご相談ください。

2.指定数量未満の貯蔵方法について

指定数量未満*の貯蔵方法に関しては、各市町村の火災予防条例によって定められています。

具体的な市町村の火災予防条例については、お近くの消防局または消防本部へお問い合わせください。

＊「指定数量の5分の1以上指定数量未満」のこと

例）ガソリン……40ℓ以上～200ℓ未満
灯油･軽油……200ℓ以上～1,000ℓ未満
A重油……400ℓ以上～2,000ℓ未満

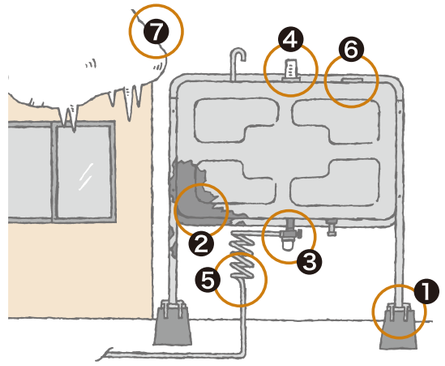
ポイント

指定数量以上の貯蔵……国が定めた**消防法**に従いましょう

指定数量未満の貯蔵……各市町村が定めた**火災予防条例**に従いましょう

タンクの設置方法･老朽化の有無を点検する

条例に定める基準を満たしたホームタンクであっても、設置方法が悪かったり、老朽化が進行すると、燃料の漏えい事故を招く恐れがあります。事故防止のため、ホームタンクの状況をいま一度確認しましょう。



	チェックポイント	発生しうる問題や対応策
1	☐ 脚にサビはありませんか?	タンク転倒による漏えいの原因になります。
	☐ タンクが傾くなど不安定な状態ではありませんか?	
	☐ 束石にしっかりと固定されていますか?	
2	☐ タンク外面にサビはありませんか?	タンク破損による漏えいの原因になります。
3	☐ ストレーナーにひび割れが発生し、にじみや漏れはないですか?	漏えいの原因になります。 灯油の流れを妨げ、ストーブが点かない原因になります。
	☐ ストレーナーと配管の接続部ににじみや漏れはないですか?	
	☐ ストレーナーに水やサビが溜まっていませんか?	
4	☐ 油面計（ゲージ）の動きは正常ですか?	ゲージの破損は油量を正確に判断できず、油切れなどの原因となります。
5	☐ 配管に破損などの異常は見られませんか?	配管破損による漏えいの原因となります。
6	☐ タンクキャップは正常ですか?	キャップが変形し噛みが甘いと、雨や雪により水が浸入する恐れがあります。
7	☐ 屋根からの落雪の影響を受ける場所ではありませんか?	落雪などによりホームタンクが破損し、漏えいの原因となります。

※チェックリストに1項目でも当てはまるものがあれば、お近くのホクレンSSまでご相談ください。

皆さまへ配送時のお願い

- ホームタンクの設置場所や給油量の変更がありましたら、お近くのJAまたはホクレンSSへご連絡お願いいたします。
- ホームタンクの周辺に障害となるものの設置は控えてください。（ペット、農機具類など）
- 冬シーズン中、ホームタンク周辺の除雪にご協力ください。

※その他ご不明な点はお近くのホクレンSSでお尋ねください。